

報道関係各位

2020年8月27日

株式会社ちゅピCOMふれあい
株式会社ちゅピCOMひろしま

～早めの避難行動のために～

広島市を中心に56カ所※1の河川映像を放送**《地域防災コラボチャンネルプロジェクトの参加を決定》**

株式会社ちゅピCOMふれあい(本社:広島市中区土橋町 代表取締役社長:岡島 鉄也), 株式会社ちゅピCOMひろしま(本社:広島市中区土橋町 代表取締役社長:浅井 幹夫)のちゅピCOMグループ2社(以下「ちゅピCOM」)は, 防災情報提供の強化を目的として, ちゅピCOMのコミュニティチャンネル※2(以下「ちゅピCOM11ch」)で, 国土交通省中国地方整備局太田川河川事務所(以下「太田川河川事務所」)が, 太田川水系および小瀬川水系に設置している河川カメラ映像の提供を2020年9月1日(火)から開始します。

これまでちゅピCOMでは, 独自の緊急地震速報システム導入, 災害発生時の避難情報や生活情報の提供, スマートフォンアプリ「ちゅピCOM 地域情報アプリ」のリリースなど, 地域の皆さまの安全と安心につながる情報を提供して参りました。

この度, 2018年の7月豪雨を受け, 国土交通省と一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟が進めてきた「地域防災コラボチャンネルプロジェクト※3」の一環として, 太田川河川事務所とちゅピCOMが連携し, 氾濫の危険性のある河川カメラの映像をリアルタイムに放送することで, 視覚に訴え, 早めの避難行動につながる情報提供を行います。

なお, 本プロジェクトによる河川カメラ映像の配信は, 広島県内初となります。

※1 太田川水系51カ所(広島市:44 安芸太田町:7) 小瀬川水系5カ所(大竹市:2 山口県岩国市:1 山口県和木町:2)

※2 ちゅピCOM加入世帯並びにちゅピCOM対応済の集合住宅などで視聴可能 視聴可能世帯数約28万世帯

※3 ケーブルテレビが持つ地域密着性というメディア特性を生かし, 河川カメラの映像を通じて, 的確な避難行動に繋げることを目的とする。同プロジェクトに参加しているケーブルテレビ事業者は全国で18事業者。

1. 河川カメラ映像の提供**【大雨など災害時の放送内容】**

太田川水系および小瀬川水系に太田川河川事務所が設置した56台の河川カメラから, 水位の上昇などにより, 警戒地域に指定された箇所に近いカメラを選択し, 河川の様子を, リアルタイムに放送。また, 堤防の決壊や氾濫発生情報などが発表された場合も, 緊急放送対応を行います。

全画面 L字緊急放送対応
イメージ画像



2. 映像提供開始日

2020年9月1日(火) 12:30～ (ちゅピコLIVE 放送)

3. ちゅピCOM2社のサービスエリア

ちゅピCOMグループ2社のサービスエリアは以下の通りです。

ふれあい	広島市中区・西区・安佐北区・佐伯区・安芸区, 廿日市市, 安芸郡海田町, 大竹市の各一部
ひろしま	広島市東区・南区・安佐南区, 安芸郡府中町の各一部

—————< 本件に関するお問い合わせ先 >—————

【報道機関の方】

ちゅピCOMふれあい・ひろしま 編成制作部 藤本・岡田・小幡 082-296-5560

【一般のお客さま】

受付時間 9:00～18:00 年中無休

ちゅピCOMお客さまセンター